

2018年10月20日

第8回逆相タンパク質アレイ・国際ワークショップ 協賛のご案内

-国際がん研究製品展示会-

謹啓、益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。

逆相タンパク質アレイ(RPPA, reverse-phase protein array)は2000年に発表された、微量検体からタンパク質を高感度に検出する技術で、シグナル伝達経路の網羅的解析や分子標的薬の効果予測など広い応用範囲が考えられています。学術・医療・産業界に少なからぬ影響を及ぼしうると予想されており、大変注目を集めています。

本国際ワークショップは、世界各地の研究室が独自に開発した RPPA に関するノウハウを共有するため、2011年に米国ヒューストンで第1回が開催された後、英国エジンバラ(2012年)、神戸(2013年)、パリ(2014年)、米国マナサス(2015年)、独国チュービンゲン(2016年)、ダブリン(2017年)で年次に開かれ、今回のワークショップは日本で開催することになりました。

この第8回国際ワークショップでは、平成31年(2019年)3月24と25日の二日間にわたり、新しくなった東京築地の国立がん研究センターの新研究棟にておこなわれることになりました。欧米から100人を超えるタンパク質や精密医療(プレシジョンメディスン)の基礎と臨床の研究者と、医師などの医療関係者の参加が見込まれているのに加え、国内および近隣アジア諸国からの参加者も相当数に上ると見られています。

貴社のお取り扱いの製品やサービスはこれらの領域に関連が深く、多くの参加者に興味を持たれるものと存じます。ここに、開催概要とご協力の要領をまとめた小冊子を作成いたしました。ご一読の上、是非ご参加・ご協賛いただきたくお願い申し上げます。

謹白

運営委員長 国立がん研究センター研究所 山田哲司

組織委員会:

Rehan Akbani (MD Anderson Cancer Center, USA)	Steven Kornblau (MD Anderson Cancer Center, USA)
Karl-Friedrich Becker (Technical University of Munich, Germany)	Lance Liotta (George Mason University, USA)
Neil Carragher (Edinburgh Cancer Research Centre, UK)	Yiling Lu (MD Anderson Cancer Center)
Mattia Cremona (Royal College of Surgeons in Ireland, Ireland)	Gordon Mills (MD Anderson Cancer Center, USA)
Leanne de Koning (Institut Curie, France)	Satoshi Nishizuka (Iwate Medical University, Japan)
Virginia Espina (George Mason University, USA)	Michael Pawlak (Natural and Medical Sciences Institute, Germany)
Thomas Joos (Natural and Medical Sciences Institute, Germany)	Emanuel Petricoin (George Mason University, USA)
	Markus Templin (Natural and Medical Sciences Institute, Germany)

国内組織委員:

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ・委員長:山田哲司(国立がん研究センター) | 近藤 格(国立がん研究センター) |
| 西塚 哲(岩手医科大学) | 増田万里(国立がん研究センター) |

後援団体

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 国際逆相タンパク質アレイ学会 (RPPA Global Society) | 国立がん研究センター (申請中) |
| 日本プロテオーム学会 | 井上科学振興財団 |
| 日本臨床プロテオゲノミクス研究会 | |

ご協賛の種類

プラチナム: 1,000,000 日本円 (1 社)

- 30 分間の講演
※英語でのご講演をお願いします。
- 展示
- ワークショップおよび親睦会への 4 名ご招待
- Web サイトへの御社ロゴの掲載
- 抄録集への 1 頁の広告掲載と、期間中の御社名揭示
※英語での掲載を希望しますが日本語でも可能です。

ゴールド: 500,000 日本円 (4 社まで)

- 15 分間の講演
※英語でのご講演をお願いします。
- 展示
- ワークショップおよび親睦会への 2 名ご招待
- Web サイトへの御社ロゴの掲載
- 抄録集への 1 頁の広告掲載と、期間中の御社名揭示
※英語での掲載を希望しますが日本語でも可能です。

シルバー: 250,000 日本円

- 展示
- ワークショップおよび親睦会への 2 名ご招待
- Web サイトへの御社ロゴの掲載
- 抄録集への 1 頁の広告掲載と、期間中の御社名揭示
※英語での掲載を希望しますが日本語でも可能です。

ブロンズ: 100,000 日本円

- 抄録集への 1 頁の広告掲載と、期間中の御社名揭示
※英語での掲載を希望しますが日本語でも可能です。
※広告サイズ 1 頁: 天地 260mm × 左右 180mm
※入稿形態 フォント埋め込み済みのイラストレータ CS3 までか PDF8.0 以下をお願いします。

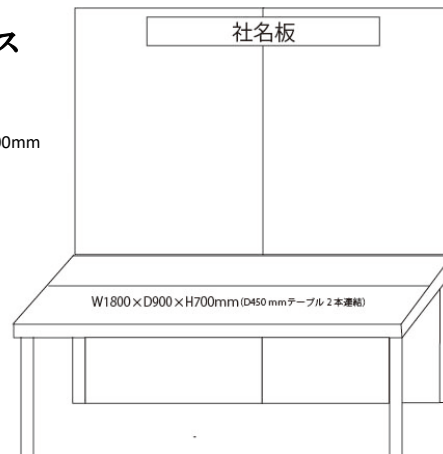
さらに詳しくはワークショップ運営事務局 office@rppa2019.jp にお問い合わせください。

申し込み方法:

別紙の申込書(sponsorship form)を記入し、ワークショップ運営事務局 office@rppa2019.jp へお送りください。
申し込み受付は 2019 年 1 月末をもちまして終了いたしますので、お早めをお願いいたします。

展示ブース の概要

H2400×w 1800mm



◆展示ブース 1 小間

- バックボード H2400×W1800mm
バックボードの色 濃紺
- 展示台 W1800×D900×H700mm
※展示台は白布で囲います

展示の説明

展示のガイドライン

展示会場には WiFi の設備と電源がございます。

展示資材を郵送の場合は、2019年3月22日(金)必着でお願いいたします。

郵送先住所:

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター新研究棟1階

事務室「RPPA 2019 展示」宛て

電話 (03) 3547-5201 内線 7134

展示準備:

場所:国立がん研究センター研究所1階 セミナールーム

時間:2019年3月24日(日) 午前 9:00-12:00

展示時間:

2019年3月24日(日) 12:00-午後 6:00

2019年3月25日(月) 午前 9:00-午後 4:00

撤去:

2019年3月25日(月) 午前 4:00-6:00

(2019年3月26日(火)に展示機材を引き取られる場合は、ご相談願います)

連絡先

電子メール: rppa@aeplan.co.jp

大会議室 (講演会場)



セミナールーム (ポスター&展示会場)



8th Reverse Phase Protein Array Global Workshop

March 24-25, 2019, National Cancer Center, Tokyo, Japan

Sponsorship Form for the RPPA workshop 2019

第8回逆相タンパク質アレイ・国際ワークショップの趣旨に賛同し、協賛を申し込みます。

1) 和英会社名(英語名はそのまま印刷されますのでご注意ください):

日本語:

英語:

2) ご担当者連絡先:

お名前:

ご職名:

部署:

電子メールアドレス:

住所(郵便番号・国名を含む):

3) 請求先(上記ご担当者様と異なる場合):

4) ご協賛の種類:

プラチナム、 ゴールド、 シルバー、 ブロンズ

5) 日付と署名:

お問い合わせ・申込先

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 4F (エ・イ-企画内)

8th Reverse Phase Protein Array Global Workshop 事務局 担当: 衛藤 匡

Tel.03-3230-2744 E-mail : rppa@aeplan.co.jp